

# 光照院たより

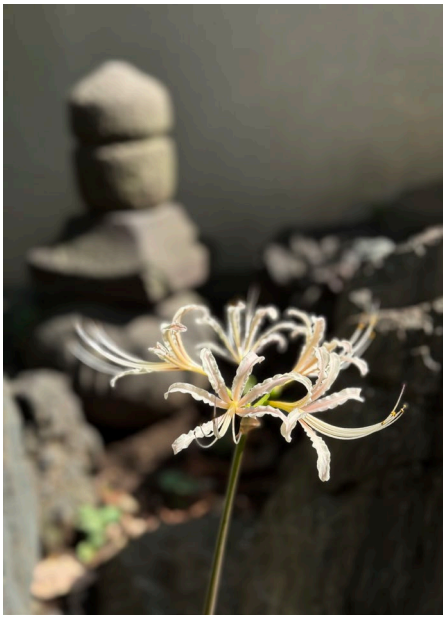
発行：(宗) 光照院  
発行日：令和7年10月10日  
台東区清川1-8-11  
TEL. 03-3872-8487  
FAX. 03-3875-5485

## 他者への慈愛は自らのため

住職 吉水岳彦

今年の夏は、35度を超える猛暑日が続き、いのちを削られるかのような暑さに、きつとみなさまも悩まされたのではないのでしょうか。一方で、年々大型化する台風や豪雨災害も全国各地に広がっていて、今年も東京でも河川の氾濫が起きました。

とであり、道を寸断されることは生活に大きな支障をもたらします。9月中旬、石川県に大佛勸進の法話に伺った折、震災から1年8ヶ月以上が経過した能登半島の現状を確認したく、輪島市にも足を延ばしました。すると、この夏の豪雨によって、能登半島のあちこちの道路が崩落し、片側通行になっていました。震災後の復



光照院の彼岸花

興作業がなかなか進まないばかりか、生活にも多くのご不便を抱えておられることが察せられたのでした。電車は通っていない輪島には車で向かうしかありません。ようやく到着した輪島には人通りもなく、公費解体で更地になったところや、雑草が生い茂っている大火災の跡地、壊れたままの建物が散見され、何とも淋しい気持ちになりました。かつて朝市でにぎわっていた通りのお店も、みな閉店、もしくは閉業していました。そんな中で唯一開店していたのが、創業115年の歴史ある和菓子屋さんでした。とはいえ、商品と店員一名が入る

だけでいっぱいになってしまふほど狭い、およそ一畳半の店舗です。お饅頭を一つ買って話を聴くと、歴史ある店舗も工場もすべて能登半島地震で失ってしまつたのだそうです。また、周辺のお店の方々は、みな「これを機に……」と、震災を契機にお店を閉じたり、他の地域に引越したりしたのでそうです。「だから『震災を機に……』という言葉は、もう聞きたくない！」と語った店員さんの表情は、とても悲しげでした。ふと店内の商品説明に目を向けると、東日本大震災で大きな被害を受けた陸前高田市の地名がかかれていました。輪島から遠く離れた岩手県沿岸部の町にいたいどんつながりがあるのかと、さらに店員さんにお話を伺いました。すると、この和菓子

屋さんには、東日本大震災が起きた時、岩手県陸前高田市の老舗のお菓子屋さんの支援に尽力していたのだといっています。それから約13年後、能登半島地震で輪島の和菓子屋が全壊。今度は陸前高田市のお菓子屋さんか輪島に駆けつけて支援をしてくれているといっています。

震災で和菓子の製造工場を失った彼らの代わりに、陸前高田市のお菓子屋さんは、輪島の和菓子屋さんのレシピをもとに一部の和菓子を製造して輪島に出荷してくれているのだそうです。そんな支援のおかげもあって、この和菓子屋さんは、ようやくプレハブの仮店舗を造ることができ、一畳半の店舗をまもなく閉じるといいます。

また、災害を通じて、地域を超えて支え合う

2つの菓子屋の絆を形にすべく、協働して新たなお菓子を作ったのだそうです。お菓子の名は「舩(もや)う」。嵐をしのいで出航を待つとき、船と船を綱で強く結びます。その結びとめる行為を「舩う」といいます。災害でツライ思いをしてきた双方が、共に苦しい状況から脱却し、早期に復興することを願い、心を結び合わせ助け合う尊い心持ちが感じられます。

災害に遭って以後の生活は、きわめて長く苦しいものです。そこから逃げてしまうことも、決して責められることではありません。ですが、この和菓子屋さんのように、他者を思いやる慈愛の行動が、結果として自分たちを救うご縁となることもあります。

何事も「絶対に成し遂げるのだ！」という強

い想いと行動がなければ願いは叶いません。加えて、思うようにならぬこの世では、「自分だけよければいい！」ではなく、困っている他者へ慈愛を向けることが、共に苦しみを脱していく力となるのだと、この度の視察で被災した輪島の方々に教えられました。私たちの人生もまた、いつ嵐に飲み込まれるかわかりません。阿弥陀様の眼差しのもと、ぜひ自らのために他者にも慈愛を施す幸せを求めてまいりましょう。合掌



**出現十一面千手観音菩薩像**  
壊滅的な被害を受けた寶幢寺ご本堂の片付けの途中、なんと無傷で出現した十一面千手観音菩薩像。

**光照院行事予定**

《月例行事》

- ・ 第3の土曜日 光照念佛会
- ・ 第1と第3の月曜日 ひとさじの会
- 《年中行事等》
- 2025年
  - ・ 11月9日(日) 十夜会法要
- 2026年
  - ・ 1月1日(木) 正月修正会
  - ・ 3月17日(日) 春のお彼岸
- ・ 4月8日(水) 花まつり(降誕会)
- ・ 6月14日(日) 施餓鬼会法要
- ・ 7月13(日) 16日 お盆(新暦)
- ・ 8月13(日) 16日 お盆(旧暦)
- ・ 9月20(日) 26日 秋のお彼岸
- ・ 9月6日(日) 一日授戒会
- ・ 11月8日(日) 十夜会法要(来年)

**お十夜会のご案内**

この度のお十夜法要には、能登半島地震で被災した七尾市寶幢寺副住職の高田光順上人をお招きし、ご法話を頂戴いたします。寶幢寺様は、当山住職が五重相伝という浄土宗における重

※こちらは予定であり、何らかの理由で変更することもあります。

要な儀式をはじめて学ばせていただいたご縁

とご恩のあるお寺です。そのご縁から、以前の

「光照院たより」でご報告した通り、能登半島地震発災後、光照院佛教青年会は、ひとさじの会と

連携して寶幢寺様の被災後のガレキのお片付けのお手伝い等に参加

しております。また、光照院檀信徒の皆様から

のお心のこもったお浄財のお届け先の一つで

もございます。ぜひこの機会に、能登半島地震被災地域の現在の様子などを学ばせていただく

とともに、一緒に早期復興をお祈りしてお念佛をお称えしましょう。

なお、時節柄、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染対策のため、ご

来寺のみなさまに手指消毒やマスクの着用を

お願いしております。引き続きご協力をお願い

申し上げます。

当日は、お塔婆のご回向も行いますので、大事をとってご欠席なさる

場合にも、お寺にてご先祖様やご縁の方のご供養を行いますので、ご安心くださいませ。

まずは、皆様が心身ともに安楽にお過ごしになれますようにお祈り申し上げます。住職拝

申し上げます。

### 《日程》

11月9日(日)

13時 法話

14時 法要

15時 終了

※法要の出欠と塔婆

の申込、ご参詣の方の人数を同封の

ハガキにて必ずお

知らせください。

※当日はお持ち帰り

頂くおみやげをご用意

しております。

### 光照念佛会のご案内

光照院では、毎月お念佛とお写経を行う会を行っております。開催日は、基本的には毎月第3

土曜日の15時から2時

間を予定しています。光照院の檀信徒に限らず、

大切な人を亡くしたさまざまな方がご参加くださっています。

現在はオンライン参加と現地参加(少人数)の2つの方法で続けて

おります。夕方の16時半からYouTubeの「為先会

のお念佛」というチャンネルにて、ご参加いただ

いております。もしよろしければご参加をお待ち

しております。

### 《お念佛会の流れ》

14時半 茶話会

15時 写経

16時半 法話

17時 念佛回向

18時頃 終了

### 光照院の徒弟たち

現在、光照院には4名の徒弟がおります。一人

は、台湾在住の女性です。台湾から日本に修行のために来日し、一生懸命

に念佛実践と勉強を重ね、昨年末、大本山増上寺で正式な僧侶資格を

得ることができました。一人は、ベトナム人僧侶の紹介で光照院にや

ってきた若いベトナム人の青年です。彼は言葉の壁を乗り越え、日本の

浄土宗の教えやお経を一生懸命に学び、ついに

今年の暮れ、総本山知恩院での修行を終えると

正式な僧侶の資格を得ることになります。

また、一人は精神的な問題を抱えていて、修行が中断された状態です。

関西在住ということもあり、なかなか思うような指導もできず、心苦しい限りです。

最後の一人は、さまざま

な病気等により、思うように修行道場に行く

ことはできない状況です。しかしながら、修行

道場以上に厳しい人生の困難にいのちがけで

向き合いながら、阿弥陀様のお救いを信じ、お念佛をお称えしてござ

す。その姿は、たとえベツドの上であろうとも、

いわゆる修行道場よりもよほど大変な修行を

積んでいるといえるでしょう。

檀信徒の皆様方のお支えとお育てのおかげ

で、光照院住職はじめ、徒弟たちも少しづつ佛

法を自ら実践し、人々に伝える者として精進を

重ねることができています。この場をお借りし

て心から感謝を申し上げます。



合掌



宇都宮市に開園 光照院菜園

### 光照院菜園の開園

ありがたいことに、光照院の生活困窮者や子どもたちへの支縁の取り組みを応援しようと、宇都宮市在住の佐藤弘幸様が、宇都宮市内に「浅草山谷光照院菜園」を開園してくださいました。2025年6月4日には豊穰祈願のお念佛法要を行い、7月24日には、作物を見守る恵光観音様もご安置しました。そして、8月末、雨量の少なさゆえにう

まく育たなかったといいなながらも、第1回目の収穫を本堂にご奉納くださいました。多くの人の慈愛の気持ちで形となった食事は、きつと困窮者や子どもたちのお腹だけでなく、心も豊かに満たして下さることでしょう。 合掌

### 貧困・子供支縁御礼

日頃より、光照院や住職の行う生活困窮者や子どもの支援活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。檀信徒様より頂戴したお供物やご支援の品は、困窮家庭や外国籍の方々に活用させていただきます。 合掌

昨年からの米不足に悩まされた1年半でしたが、誠にありがとうございました。お米や野菜を届けてくださいました。おかげさ

まで、困窮世帯に多くの食品をお渡しすることが出来ました。この場をお借りして感謝を申し上げます。 合掌

### 一日授戒会開苑

じゅかいえかいえん

9月7日、正式な佛教徒になるために、お釈迦様の教えられた「戒」正しい生活習慣をお伝えし、お授けする授戒会が執り行われました。この度の受者は6名。人数は少ないながら、皆様真剣に受け取られ、それぞれがお釈迦様の教えによって、まさに「生まれ変わる体験」をしていただくことができました。

これまでの生き方を反省し、積極的に善き行いを実践する習慣を身につけさせ、徳の高い人間を育む授戒会は、今後も光照院にて年に一度は開催する予定です。次回の日程は2026年

9月6日(日)の朝8時半〜夕方18時を予定しています。ご参加を希望される方やご興味のあ

る方は、遠慮なくお寺にご相談下さいませ。(住)

### 光照院へのアクセス

台東区循環バス「北めぐりん」 「浅草駅」から乗車し、光照院そばの九番「清川一丁目」停留所で降車ください。また、「甲42南千住車庫ゆき」バスご利用の場合は、「浅草松屋前」停留所か

ら乗車し、「東浅草」停留所で降車ください。

### 編集後記

障がいを持つ方々が当たり前のように自立生活を送れるような社会を目指す活動は、日本でも広く行われています。当事者として、この活動をけん引してきた方の発願により「和楽地蔵」が拙寺に建立されます。誰もが平等に意志と生活を尊重してもらえよう、社会の障がい除かれます事をお願いします。(住)



全ての人の安楽を願う和楽地蔵